

1. 会社概要 -フィールドとは

■ 会社概要 -フィールドとは



⇒ 説明会資料 1ページ

当社の会社概要や企業理念などについて、ご説明します。

■ 会社概要

1.1 会社概要	
(2013年3月31日現在)	
設立	1988年6月
本社所在地	東京都渋谷区南平台町16-17
資本金	79億4,803万円
従業員数	1,416名(連結)
事業内容	コンテンツの企画開発及び関連ビジネス パチンコ・パチスロ機の企画開発及び販売
グループ会社	株式会社円谷プロダクション 株式会社デンタル・フロンティア、他21社
株主数	8,959名(新潟96名)
(株式情報)	
上場年月	2003年3月
上場市場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード 証券コード2767

Copyright 2013 FIELD CORPORATION All rights reserved. 2

⇒ 説明会資料 2ページ

会社概要は左表の通りです。

現在、営業拠点を全国に26拠点擁していますが、来期中に37拠点へ増設する計画です。

1. 会社概要 - フィールズとは

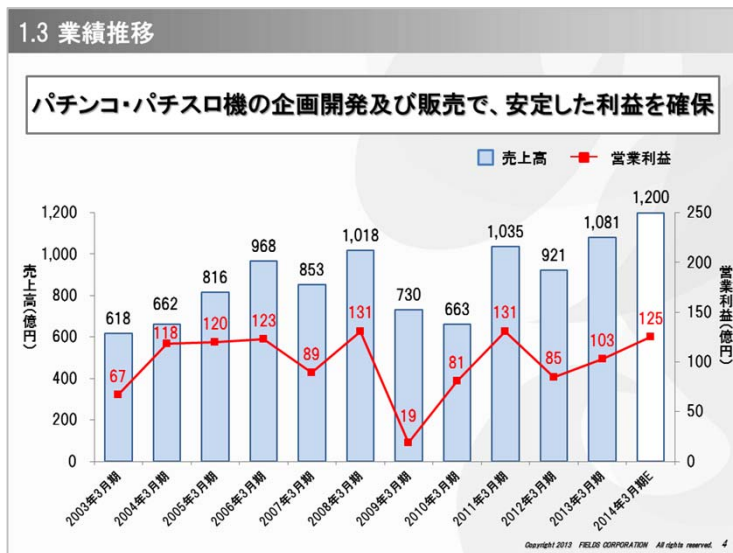
■ 企業理念



⇒ 説明会資料 3ページ

当社は、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げています。

■ 業績推移



⇒ 説明会資料 4ページ

左のグラフは、上場来の売上高及び営業利益になります。2014年3月期は、売上高1,200億円、営業利益125億円を計画しています。

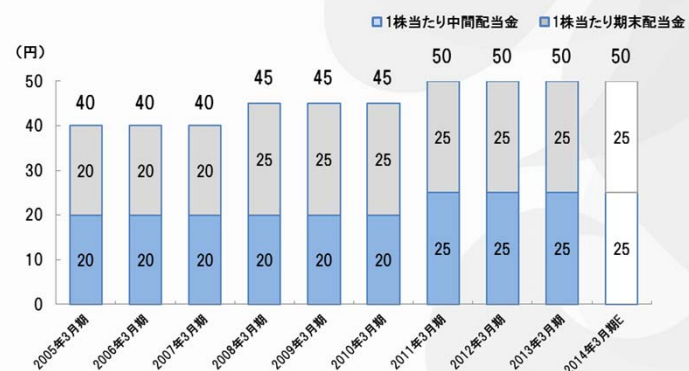
2013年9月 個人投資家様向け会社説明会(要旨)

1. 会社概要 - フィールズとは

■ 利益還元方針

1.4 利益還元方針

利益に応じた適正な配当/連結配当性向基準:20%以上



(注) 2012年9月30日を基準日として、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を記載しています。 Copyright 2013 FEILD CORPORATION All rights reserved. 5

⇒ 説明会資料 5ページ

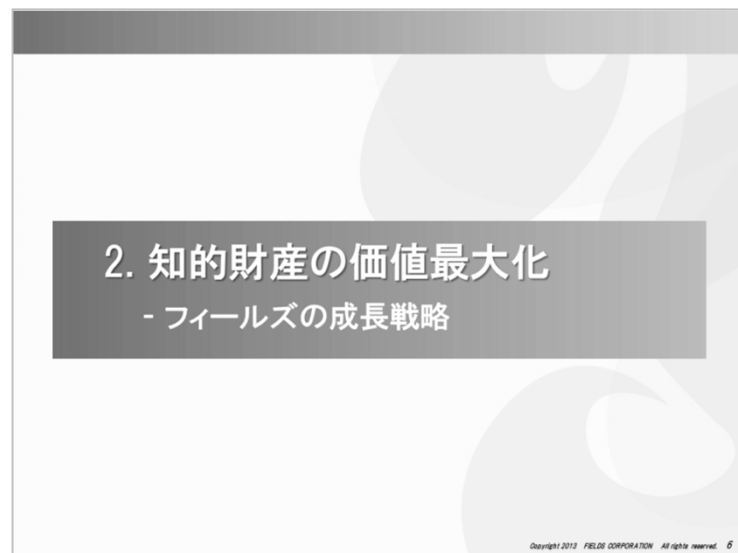
左のグラフは、配当金の推移になります。

当社は、連結配当性向基準20%以上を配当方針としています。

2014年3月期の1株当たり年間配当金は50円を予定しています。

2. 知的財産の価値最大化 -フィールズの成長戦略

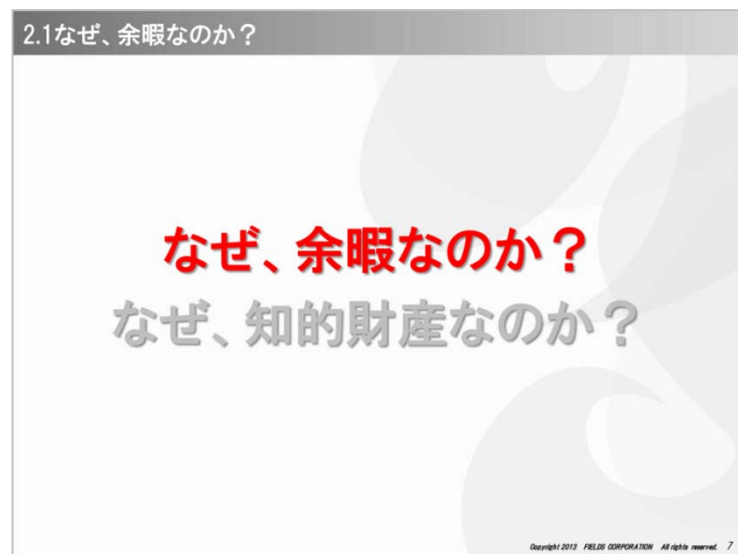
■ 知的財産の価値最大化



⇒ 説明会資料 6ページ

当社は、「知的財産の価値最大化」という考え方を基幹としています。

■ なぜ、余暇なのか？



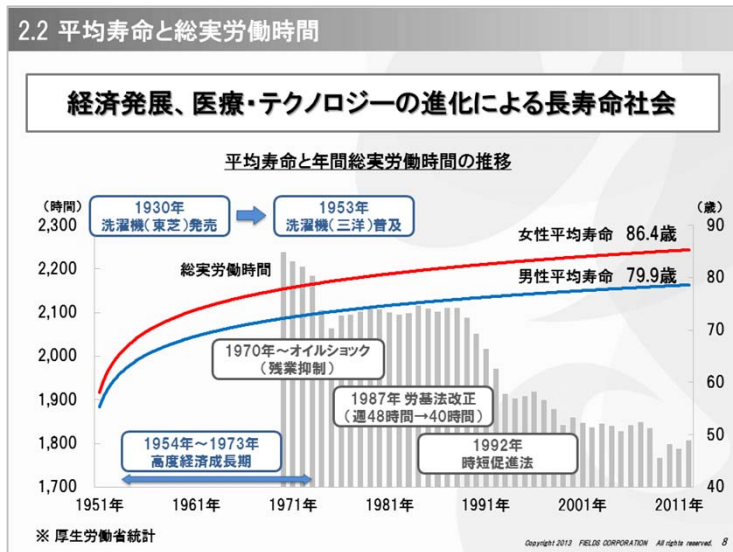
⇒ 説明会資料 7ページ

なぜ、当社が余暇ビジネスに注力するのかをご説明します。

2013年9月 個人投資家様向け会社説明会(要旨)

2. 知的財産の価値最大化 - フィールズの成長戦略

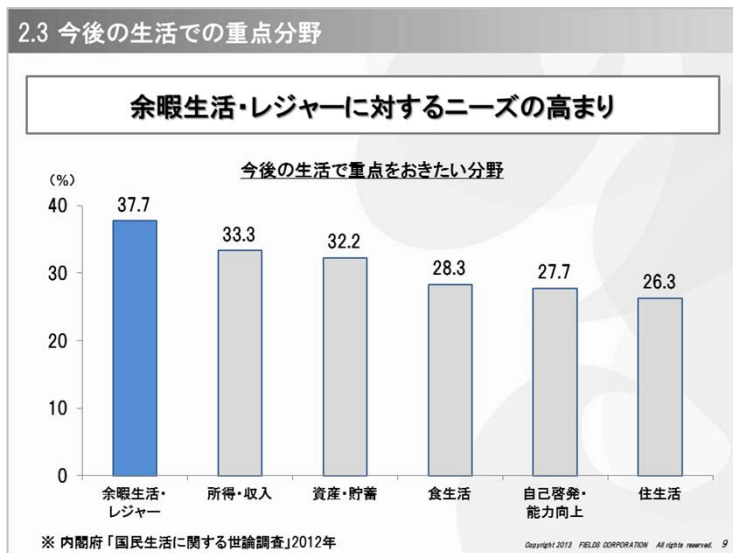
■ 平均寿命と総実労働時間



⇒ 説明会資料 8ページ

左のグラフの通り、我が国は、経済発展や医療・テクノロジーの進化で平均寿命が延び、労働環境の変化に伴い、総実労働時間が減少してきました。

■ 今後の生活での重点分野



⇒ 説明会資料 9ページ

左のグラフの通り、内閣府の調査によると、今後の生活で重点をおきたい分野として、余暇生活やレジャーを重要視する人が最多となっています。

こうした中、当社は、これまでも余暇時間の増加と、余暇に対する人々のニーズの高まりを予見し、そこにビジネスチャンスを見出してきました。

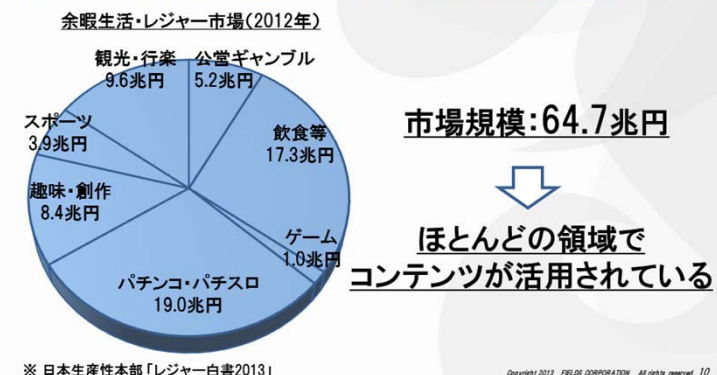
2. 知的財産の価値最大化 -フィールズの成長戦略

■ 余暇生活・レジャー市場

2.4 余暇生活・レジャー市場

余暇生活・レジャーでコンテンツは必要不可欠

※ 経済産業省:コンテンツは人生を豊かにする生活必需品



⇒ 説明会資料 10ページ

左のグラフの通り、余暇生活・レジャー市場は64.7兆円となっており、そのほとんどの領域でコンテンツが活用されています。

■ なぜ、知的財産なのか？

2.5 なぜ、知的財産なのか？

なぜ、余暇なのか？
なぜ、知的財産なのか？

⇒ 説明会資料 11ページ

なぜ、当社が知的財産に主軸に置くのかをご説明します。

2. 知的財産の価値最大化 -フィールドズの成長戦略

■ 知的財産とは

2.6 知的財産とは

知的財産とは…

**コンテンツの源泉となる
キャラクターやストーリーなど**

Copyright 2013 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 12

⇒ 説明会資料 12ページ

当社では、「知的財産」をコンテンツの源泉となるキャラクターやストーリーと位置付けています。

■ クール・ジャパン戦略

2.7 クール・ジャパン戦略

クール・ジャパンを支えるクリエイティブ産業が新たな成長の柱

※ クリエイティブ産業例：ファッション、アニメ・マンガ、食、地域、観光等

自動車・家電産業に依存した経済成長が困難	世界的に日本のコンテンツの人気が高い	先進各国のクリエイティブ産業へのシフト
----------------------	--------------------	---------------------

・新興国等とコスト競争は困難
・グローバル需要の取り込みが必要 ・JAPAN EXPO(仏) 20万人以上来場
・ポケモンのグッズ等売上は約3兆円 ・英はクール・ブリタニアを宣言
・米はニューディール政策を表明

↓

**クリエイティブ産業の競争力強化
世界の文化産業900兆円以上(2020年推計)へ本格参入**

※ 経済産業省「クール・ジャパン戦略」資料より一部抜粋 Copyright 2013 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 13

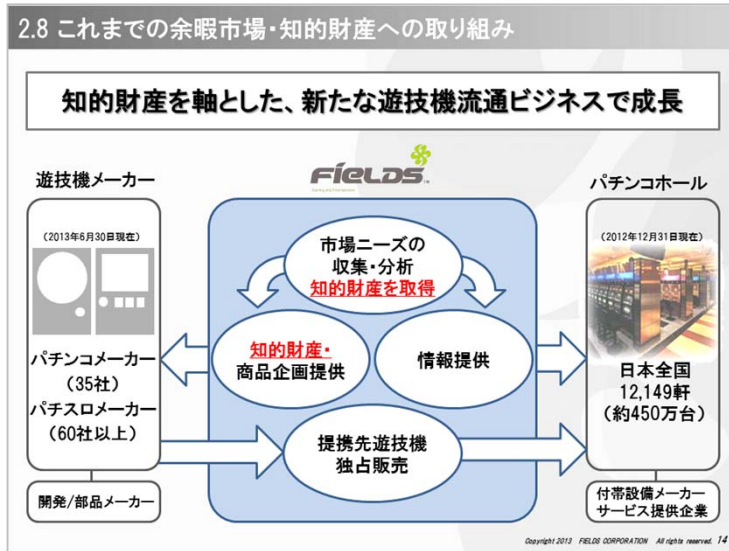
⇒ 説明会資料 13ページ

経済産業省は、クール・ジャパン戦略に基づき、日本の文化やエンタテインメントを海外に浸透させる仕組みづくりを進めています。世界的に見て人気の高い日本のコンテンツは、今後、海外においても、より一層その価値を高め、市場を拡大させていくものと期待されています。

2013年9月 個人投資家様向け会社説明会(要旨)

2. 知的財産の価値最大化 -フィールズの成長戦略

■ これまでの余暇市場・知的財産への取り組み

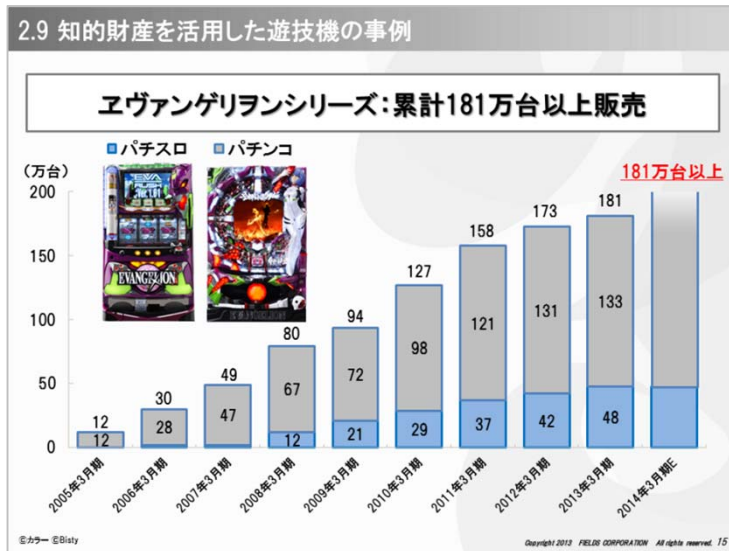


⇒ 説明会資料 14ページ

これまで当社は、遊技機メーカーとホールの中に位置し、キャラクターなどの知的財産を活用した商品企画をメーカーに提案してきました。

そして、メーカーが開発・製造した商品を、当社が総発売元として販売する、新たな遊技機流通ビジネスを構築し、成長してきました。

■ 知的財産を活用した遊技機の事例



⇒ 説明会資料 15ページ

知的財産を活用した遊技機の例として、「エヴァンゲリオン」シリーズがあります。

2005年3月期に発売し、2013年3月期までにシリーズ累計181万台以上を販売しています。

なお、当第2四半期にも新機種を投入しており、現在、好調に推移しています。

2. 知的財産の価値最大化 -フィールズの成長戦略

■ フィールズの成長戦略

2.10 フィールズの成長戦略

フィールズの成長戦略

**知的財産の取得・創出・育成を通じ
世の中の人々の心を豊かにする
商品やサービスを創造する**

Copyright 2013 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 16

⇒ 説明会資料 16ページ

これまでの取り組みを踏まえ、当社では、知的財産の取得・創出・育成を通じて、世の中の人々の心を豊かにする商品やサービスを創造し、提供することを成長戦略と位置付けました。

■ 成長するビジネスモデル

2.11 成長するビジネスモデル

2012年5月に発表した「成長するビジネスモデル」

知的財産の価値最大化
シリーズ化

コミックス
原作・ストーリー・キャラクターを
取得・創出する

アニメーション
ストーリーやキャラクターをCGなどの
最先端技術で付加価値を高める

映画/テレビ
アニメーション化されたコンテンツを世に広め、
多くのファン層を拡大させる

マーチャンダイジング
【インタラクティブメディア
コンシューマプロダクト
パチンコ・パチスロ】
それぞれのメディアで活用し、収益化を図る

Copyright 2013 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 17

⇒ 説明会資料 17ページ

左図の通り、当社ではコミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャンダイジングを通じて、知的財産のファンを拡大し、知的財産の価値最大化を図るビジネスモデルを推進しています。

2. 知的財産の価値最大化 -フィールドズの成長戦略

■ 知的財産の展開例:ウルトラマンシリーズ



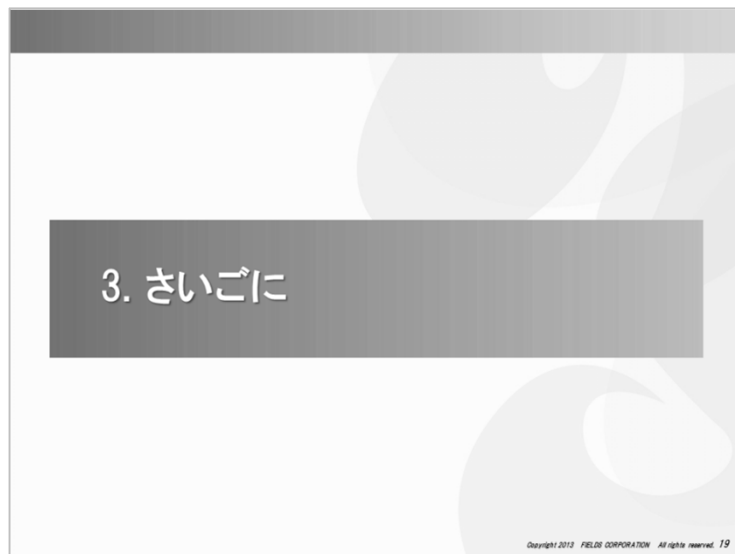
⇒ 説明会資料 18ページ

当社は、2010年4月に、「ウルトラマン」シリーズを有する円谷プロダクションをグループに迎え入れました。

現在は、世界中の人々にウルトラマンを知って頂くため、パートナーと連携した様々な施策を推進しています。

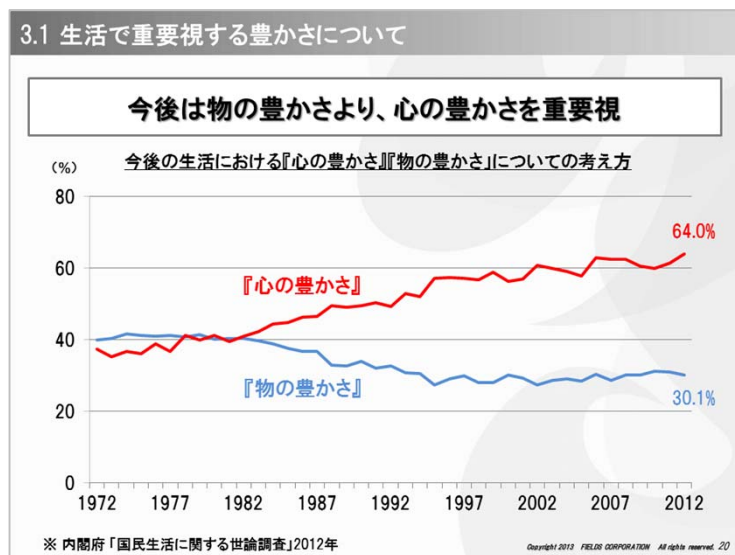
3. さいごに

■ さいごに



⇒ 説明会資料 19ページ

■ 生活で重要視する豊かさについて

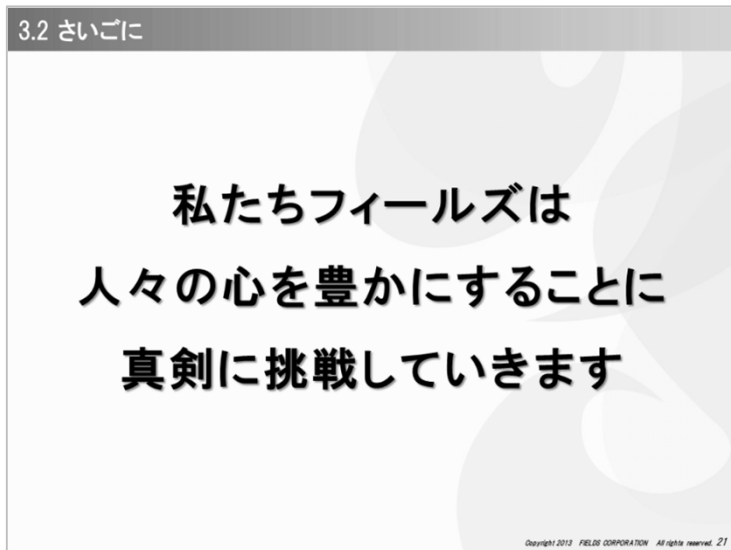


⇒ 説明会資料 20ページ

さいごに、内閣府の調査によると、「人々の生活で重要視する豊かさ」についての調査においては、1972年以降、物の豊かさを重視する人は減少し、心の豊かさを重視する人が増加を続けています。

3. さいごに

■ さいごに



⇒ 説明会資料 21ページ

当社は、これからも人々の心を豊かにする商品やサービスの提供に真剣に挑戦していきます。

今後とも、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は、ご清聴頂き、誠にありがとうございました。

〈お問い合わせ先〉
フィールズ株式会社
コーポレートコミュニケーション室IR課
TEL: 03-5784-2109
E-mail: ir@fields.biz

〈スピーカー(新潟会場)〉

執行役員
コーポレートコミュニケーション室長

畑中英昭